

① 人 口

C0101 人口規模

C0101-1 人口総数及び増加数

中川村の行政区域の人口推移をみると、減少傾向が続いており、平成 27 年には 4,850 人となっている。

また、用途地域指定区域の人口は平成 12 年をピークに減少に転じ、平成 27 年には 1,396 人となっている。用途地域指定外区域の人口は、行政区域の人口と同様に減少傾向が続いており、平成 27 年に 3,454 人となっている。

平成 7 年から平成 27 年までの 20 年間では、行政区域で 664 人減（12.0%減）、用途地域指定区域で 54 人増（4.0%増）、用途地域指定外区域で 718 人減（17.2%減）となっており、用途地域指定外区域での減少率が大きい。

表 1 人口推移

区 域	H 7	H 7～H12 の増減		H12	H12～H17 の増減		H17	H17～H22 の増減		H22	H22～H27 の増減		H27
	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)
行政区域	5,514	▲ 39	▲ 0.7	5,475	▲ 212	▲ 3.9	5,263	▲ 189	▲ 3.6	5,074	▲ 224	▲ 4.4	4,850
都市計画区域	5,514	▲ 39	▲ 0.7	5,475	▲ 212	▲ 3.9	5,263	▲ 189	▲ 3.6	5,074	▲ 224	▲ 4.4	4,850
用途地域 指定区域	1,342	195	14.5	1,537	▲ 2	▲ 0.1	1,535	▲ 84	▲ 5.5	1,451	▲ 55	▲ 3.8	1,396
用途地域 指定外区域	4,172	▲ 234	▲ 5.6	3,938	▲ 210	▲ 5.3	3,728	▲ 105	▲ 2.8	3,623	▲ 169	▲ 4.7	3,454

資料：国勢調査

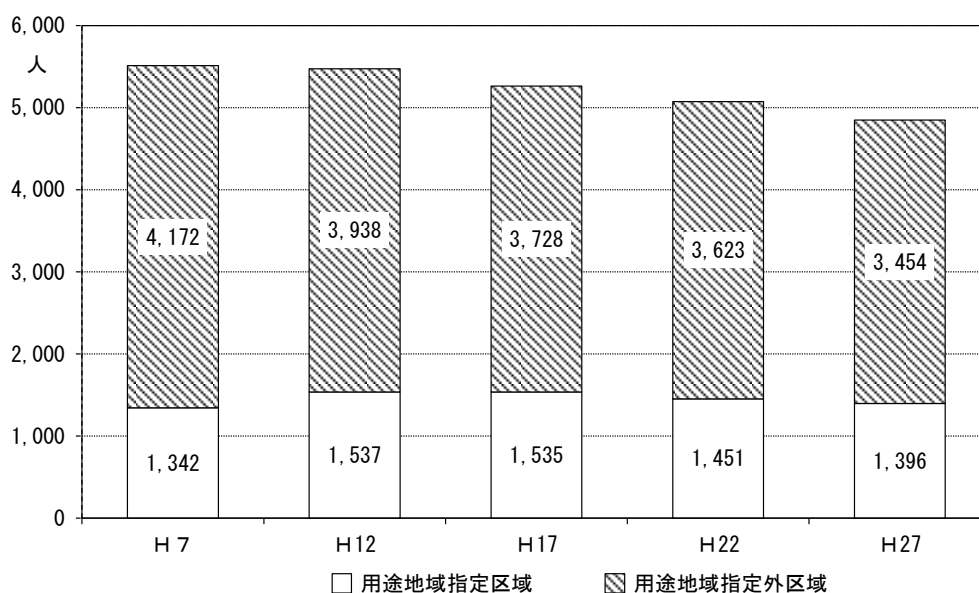


図 1 用途地域内外別人口推移

C0101-2 年齢・性別人口

平成27年の5歳階級別人口をみると、60歳代の人口が多く、15歳から20歳代の人口が少なくなっている。そのほかの年代は、男女とも30～50歳代は約140人前後、14歳以下は約100人前後となっており、70歳代以上は年齢とともに減少している。また、平成7年と平成27年の人口ピラミッドを比較すると、高齢層の人口の厚みが増し、若年層の人口の厚みが薄くなっており、少子高齢化の進行がうかがえる。

平成7年から平成27年の年齢3区分別人口構成比の推移をみると、年少人口は減少傾向にあるものの、平成27年にやや増加し、13.4%となっている。生産年齢人口は、平成22年までは緩やかに減少していたが、平成22年は57.0%、平成27年は53.3%と過去5年間の減少幅(3.7%減)が大きくなっている。老年人口は増加し続けており、平成27年で33.4%となっている。

表2 5歳階級別年齢・性別人口推移

単位：人

階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	325	145	180	205	108	97	204	99	105	206	102	104	191	87	104
5～9	324	174	150	336	152	184	218	121	97	219	112	107	225	102	123
10～14	385	212	173	345	181	164	341	157	184	221	124	97	233	119	114
年少人口	1,034	531	503	886	441	445	763	377	386	646	338	308	649	308	341
15～19	323	170	153	320	179	141	272	144	128	278	121	157	168	92	76
20～24	226	108	118	223	118	105	223	124	99	177	84	93	175	79	96
25～29	260	129	131	280	127	153	240	130	110	219	129	90	181	94	87
30～34	270	129	141	275	142	133	254	122	132	247	127	120	245	126	119
35～39	338	155	183	279	135	144	254	126	128	263	133	130	272	130	142
40～44	391	209	182	357	162	195	292	141	151	270	133	137	264	134	130
45～49	387	202	185	397	206	191	357	163	194	285	141	144	270	131	139
50～54	330	162	168	394	201	193	387	201	186	351	162	189	274	130	144
55～59	339	167	172	338	167	171	413	206	207	392	202	190	344	161	183
60～64	350	173	177	338	163	175	358	174	184	410	201	209	390	205	185
生産年齢人口	3,214	1,604	1,610	3,201	1,600	1,601	3,050	1,531	1,519	2,892	1,433	1,459	2,583	1,282	1,301
65～69	372	170	202	352	169	183	335	163	172	351	175	176	410	198	212
70～74	345	157	188	356	158	198	328	151	177	323	152	171	336	172	164
75～79	242	98	144	317	139	178	317	132	185	300	130	170	288	132	156
80～84	184	64	120	193	80	113	247	97	150	264	101	163	262	108	154
85～89	91	34	57	123	36	87	141	50	91	204	75	129	183	63	120
90～	32	7	25	47	14	33	82	24	58	94	29	65	139	37	102
老年人口	1,266	530	736	1,388	596	792	1,450	617	833	1,536	662	874	1,618	710	908
総計	5,514	2,665	2,849	5,475	2,637	2,838	5,263	2,525	2,738	5,074	2,433	2,641	4,850	2,300	2,550

資料：国勢調査

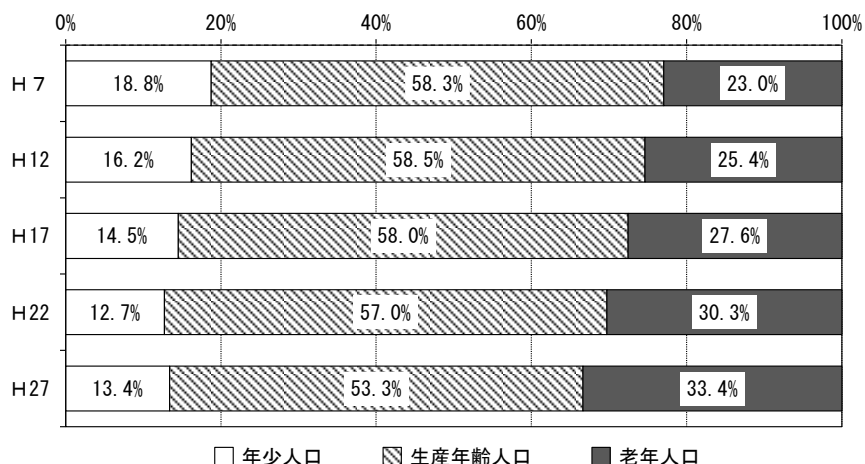
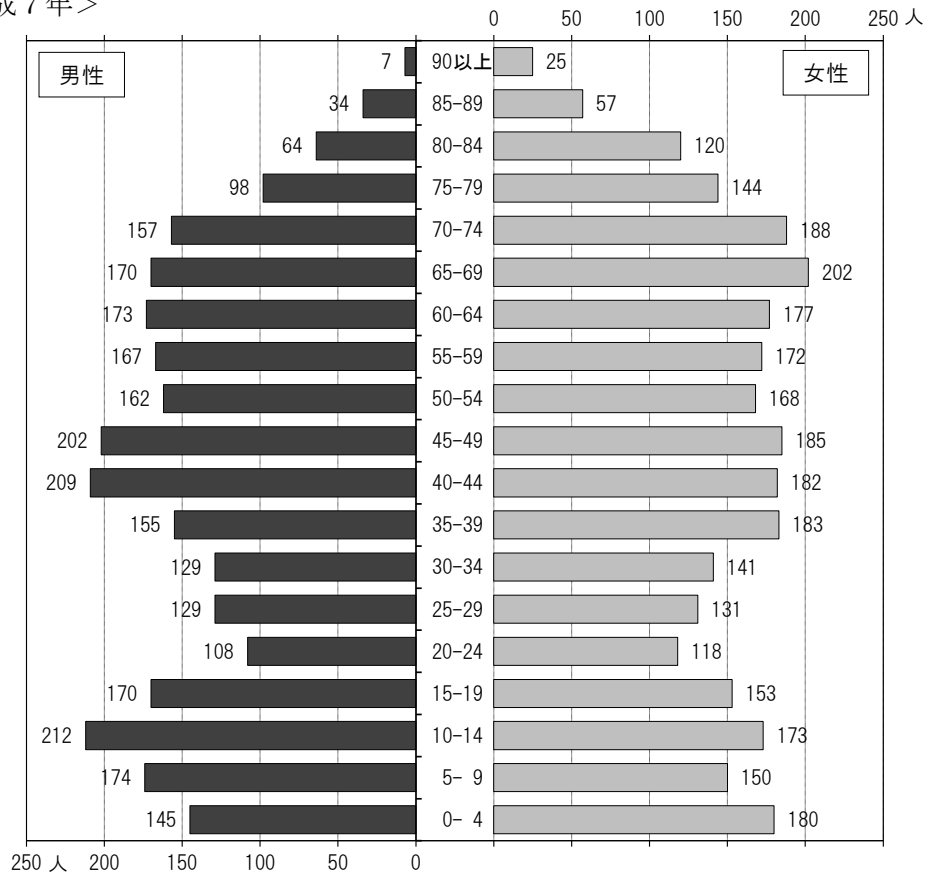


図2 年齢3区分別人口構成比の推移

<平成7年>



<平成27年>

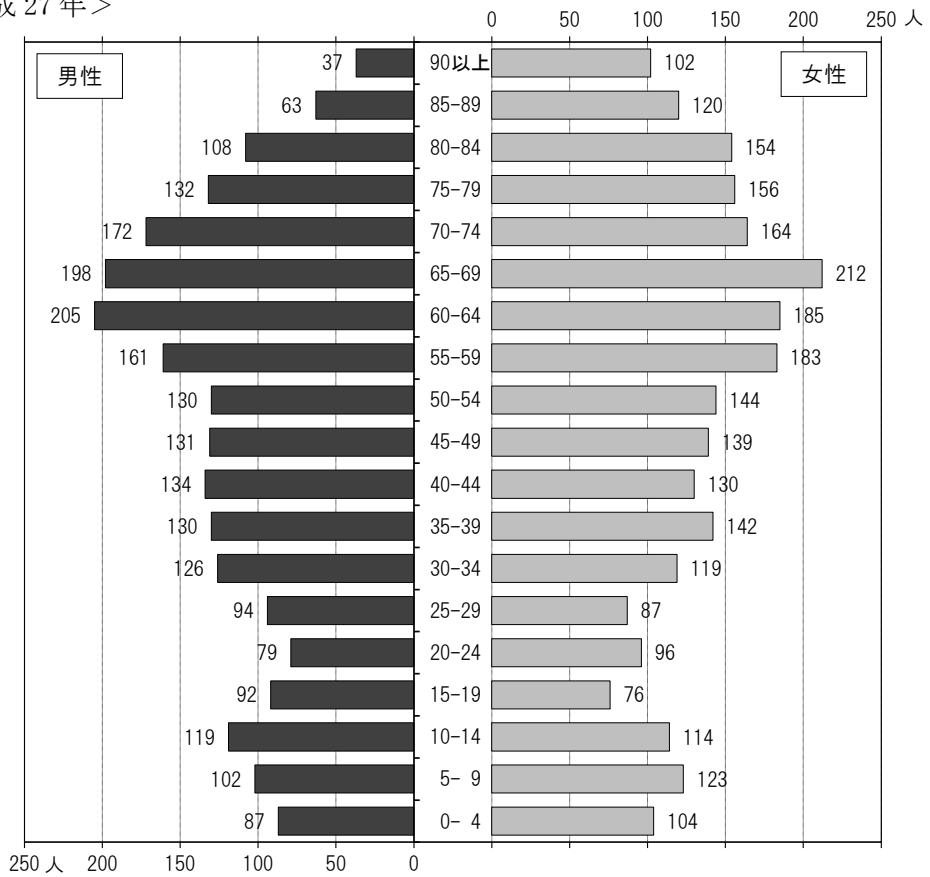


図3 5歳階級別年齢・性別人口

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による中川村の推計人口では減少が続き、令和27年には3,288人になると推計されている。年齢3区分別人口をみると、平成27年から令和27年の増減は、年少人口が287人減(44.2%減)、生産年齢人口が1,127人減(43.6%減)、老年人口が148人減(9.1%減)と推計されている。

表3 5歳階級別人口推計

単位：人

	平成27年(実績値) (2015年)			令和2年 (2020年)			令和7年 (2025年)			令和12年 (2030年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	191	87	104	173	89	84	158	81	77	141	72	69
5～9	225	102	123	198	93	105	180	95	85	165	87	78
10～14	233	119	114	237	108	129	210	99	111	192	101	91
年少人口	649	308	341	608	290	318	548	275	273	498	260	238
15～19	168	92	76	177	88	89	180	80	100	160	73	87
20～24	175	79	96	107	60	47	113	58	55	115	53	62
25～29	181	94	87	180	91	89	115	70	45	121	68	53
30～34	245	126	119	187	92	95	186	90	96	122	70	52
35～39	272	130	142	242	127	115	189	95	94	186	92	94
40～44	264	134	130	273	129	144	244	126	118	191	95	96
45～49	270	131	139	262	132	130	272	128	144	241	123	118
50～54	274	130	144	270	131	139	263	132	131	272	128	144
55～59	344	161	183	275	129	146	274	132	142	265	132	133
60～64	390	205	185	341	163	178	274	132	142	273	135	138
生産年齢人口	2,583	1,282	1,301	2,314	1,142	1,172	2,110	1,043	1,067	1,946	969	977
65～69	410	198	212	385	200	185	339	161	178	274	131	143
70～74	336	172	164	391	186	205	367	188	179	323	151	172
75～79	288	132	156	308	152	156	361	166	195	339	168	171
80～84	262	108	154	254	111	143	273	129	144	325	143	182
85～89	183	63	120	201	72	129	198	76	122	215	90	125
90歳以上	139	37	102	157	40	117	176	45	131	186	50	136
老年人口	1,618	710	908	1,696	761	935	1,714	765	949	1,662	733	929
総計	4,850	2,300	2,550	4,618	2,193	2,425	4,372	2,083	2,289	4,106	1,962	2,144

	令和17年 (2035年)			令和22年 (2040年)			令和27年 (2045年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	126	65	61	114	58	56	100	51	49
5～9	148	78	70	132	70	62	120	63	57
10～14	177	93	84	158	83	75	142	75	67
年少人口	451	236	215	404	211	193	362	189	173
15～19	146	75	71	134	69	65	121	62	59
20～24	101	48	53	93	49	44	85	45	40
25～29	122	62	60	109	57	52	102	59	43
30～34	130	68	62	133	63	70	119	58	61
35～39	123	72	51	132	71	61	135	65	70
40～44	189	93	96	127	73	54	136	72	64
45～49	191	94	97	189	92	97	127	73	54
50～54	243	124	119	193	95	98	190	92	98
55～59	275	128	147	245	124	121	195	95	100
60～64	266	136	130	275	132	143	246	128	118
生産年齢人口	1,786	900	886	1,630	825	805	1,456	749	707
65～69	274	135	139	266	135	131	276	131	145
70～74	263	124	139	264	128	136	256	128	128
75～79	301	136	165	246	112	134	246	115	131
80～84	304	145	159	272	118	154	225	99	126
85～89	260	101	159	241	102	139	222	85	137
90歳以上	203	59	144	243	70	173	245	72	173
老年人口	1,605	700	905	1,532	665	867	1,470	630	840
総計	3,842	1,836	2,006	3,566	1,701	1,865	3,288	1,568	1,720

資料：平成27年国勢調査、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、平成30年推計)

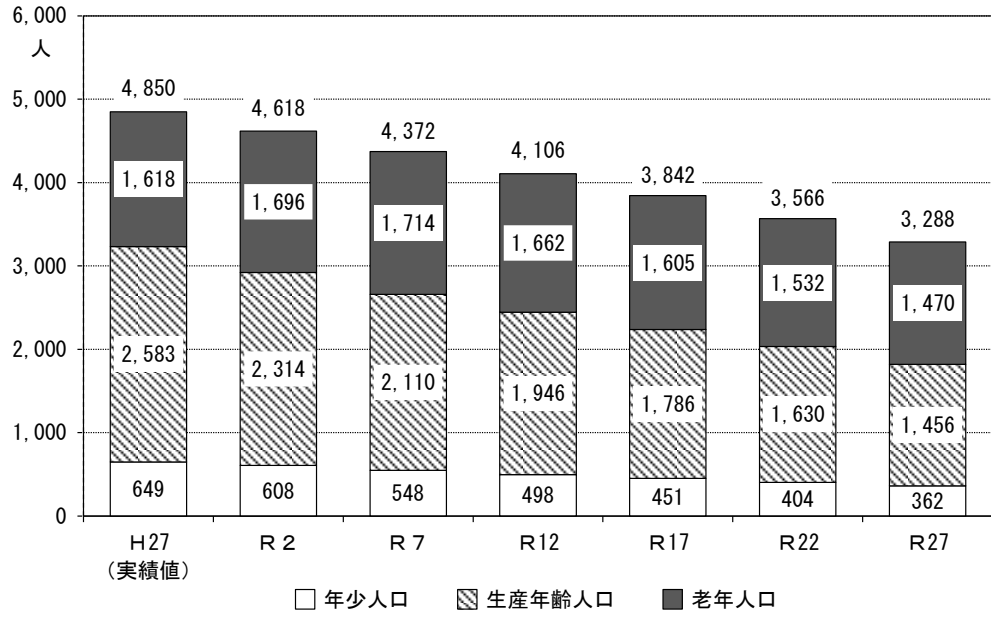
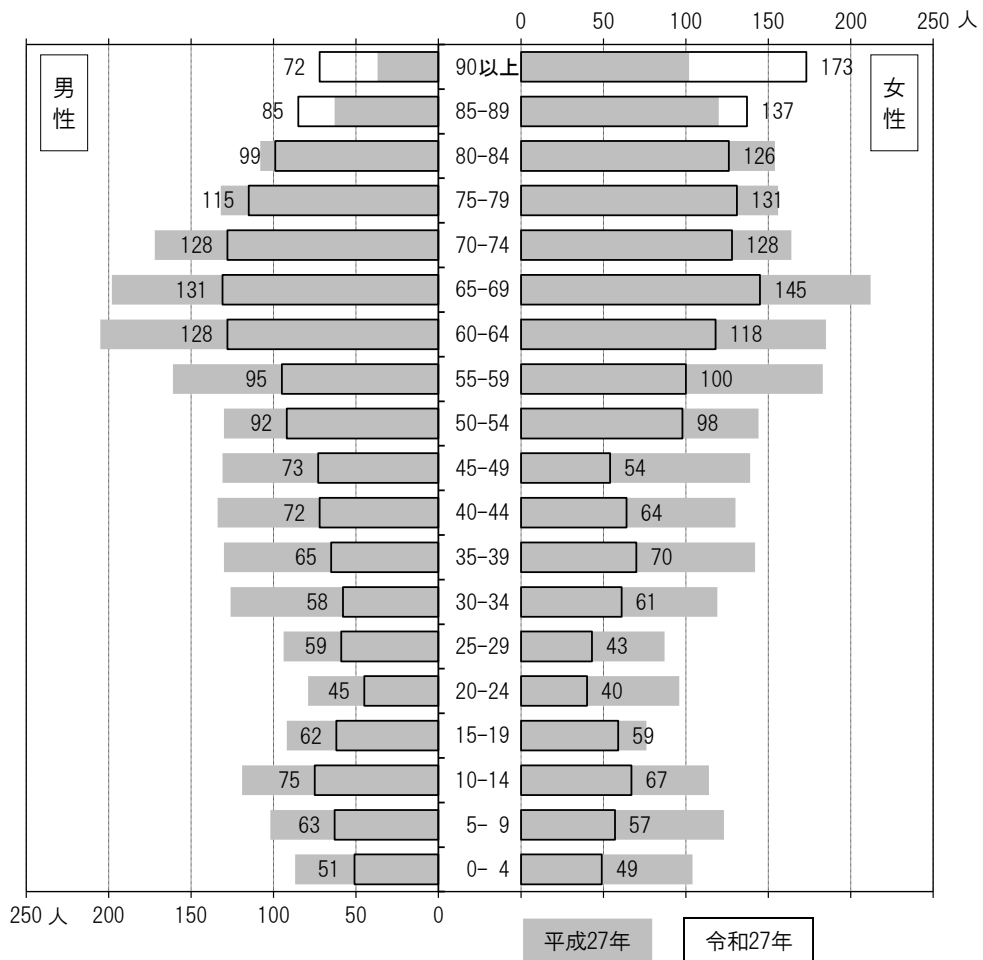


図 4 年齢3区分別将来人口推計



注) 数値は令和27年

図 5 5歳階級別将来人口推計

C0104 人口増減

行政区域の平成7年から令和元年までの期間における人口増減数は、798人減となっており、平成16年以降は減少が続いている。

自然動態については、平成11年以降、出生数が死亡者数を下回る自然減の状態が続いており、近年は毎年20人前後の減少となっている。出生数は増減を繰り返しているものの、緩やかな減少傾向にあり、平成26年以降は30人程度にとどまっている。

一方、社会動態については、平成15年頃までは社会増となっている年が多かったが、それ以降は社会減の年が多く、平成18年や平成22年など大幅な社会減となる年が目立つ。

表4 人口動態推移

単位：人

		H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
		行政区域・都市計画区域	自然増減	5	9	▲26	5	▲22	▲7	▲38	▲23	▲11	▲27	▲19
	出生数	57	44	35	48	31	44	28	33	44	34	44	41	38
	死亡者数	52	35	61	43	53	51	66	56	55	61	63	48	66
	社会増減	3	16	17	▲46	12	57	▲45	5	20	▲36	1	▲49	▲21
	転入者数	167	177	185	136	152	194	180	155	201	155	225	196	196
	転出者数	164	161	168	182	140	137	225	150	181	191	224	245	217
	(その他増減)	1	▲1	3	2	0	▲3	▲2	▲8	0	▲3	2	1	2
	人口増減数	9	24	▲6	▲39	▲10	47	▲85	▲26	9	▲66	▲16	▲55	▲47
	累計		33	27	▲12	▲22	25	▲60	▲86	▲77	▲143	▲159	▲214	▲261
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
	自然増減	▲14	▲35	▲24	▲21	▲28	▲14	▲24	▲25	▲36	▲25	▲19	▲18	
	出生数	47	30	36	41	31	45	31	29	36	34	30	30	
	死亡者数	61	65	60	62	59	59	55	54	72	59	49	48	
	社会増減	▲35	2	▲54	2	7	▲8	▲16	▲41	▲17	▲40	16	▲30	
	転入者数	125	146	128	120	152	139	127	110	112	128	153	97	
	転出者数	160	144	182	118	145	147	143	151	129	168	137	127	
	(その他増減)	1	0	0	0	▲3	▲7	▲2	0	▲5	▲1	▲17	▲6	
	人口増減数	▲48	▲33	▲78	▲19	▲24	▲29	▲42	▲66	▲58	▲66	▲20	▲54	
	累計	▲309	▲342	▲420	▲439	▲463	▲492	▲534	▲600	▲658	▲724	▲744	▲798	
		H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
用途地域指定区域	自然増減	1	2	▲6	2	▲5	▲2	▲11	▲7	▲3	▲7	▲5	▲2	▲8
	出生数	14	11	9	12	8	12	8	9	12	10	13	12	11
	死亡者数	13	9	15	10	13	14	19	16	15	17	18	14	19
	社会増減	1	4	4	▲11	3	16	▲12	2	5	▲10	1	▲14	▲6
	転入者数	41	43	45	33	37	54	51	44	56	44	66	57	57
	転出者数	40	39	41	44	34	38	63	42	51	54	65	71	63
	(その他増減)	0	0	1	0	0	▲1	▲1	▲2	0	▲1	1	0	1
	人口増減数	2	6	▲1	▲9	▲2	13	▲24	▲7	2	▲18	▲3	▲16	▲13
	累計		8	7	▲2	▲4	9	▲15	▲22	▲20	▲38	▲41	▲57	▲70
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
		自然増減	▲4	▲10	▲7	▲6	▲8	▲4	▲7	▲8	▲11	▲7	▲5	▲5
		出生数	14	9	10	12	9	13	9	8	10	10	9	9
		死亡者数	18	19	17	18	17	17	16	16	21	17	14	14
		社会増減	▲11	1	▲15	0	2	▲2	▲5	▲11	▲5	▲11	5	▲9
	転入者数	36	43	37	34	43	40	36	32	32	37	44	28	
	転出者数	47	42	52	34	41	42	41	43	37	48	39	37	
	(その他増減)	0	0	0	0	▲1	▲2	▲1	0	▲1	0	▲5	▲2	
	人口増減数	▲15	▲9	▲22	▲6	▲7	▲8	▲13	▲19	▲17	▲18	▲5	▲16	
	累計	▲85	▲94	▲116	▲122	▲129	▲137	▲150	▲169	▲186	▲204	▲209	▲225	

資料：長野県毎月人口異動調査



図 6 人口動態の推移 (行政区域)

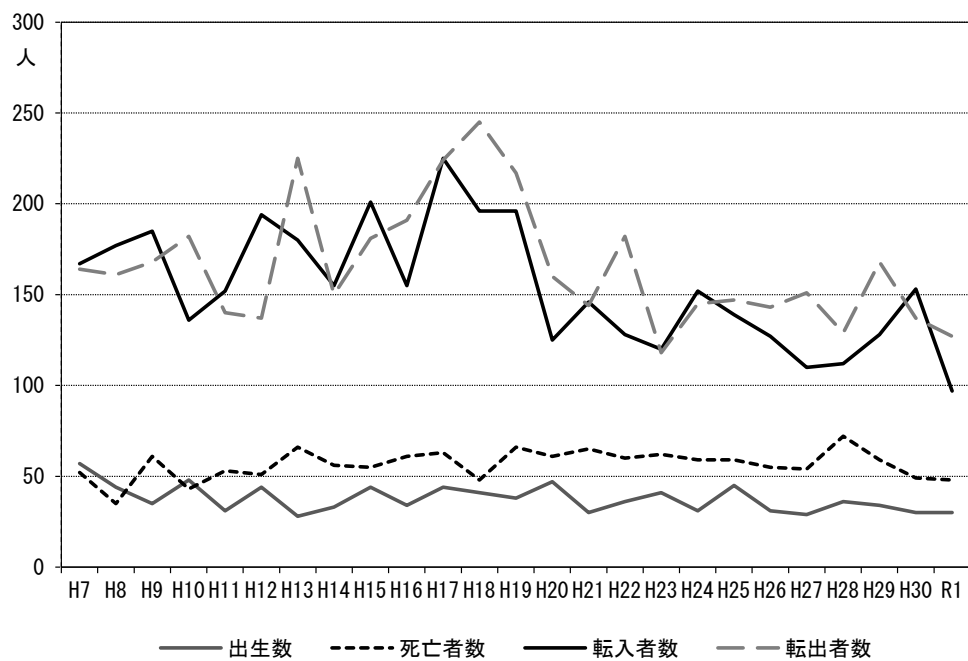


図 7 人口動態の推移内訳 (行政区域)

C0105 通勤・通学移動

平成2年から平成22年までの就業・通学者数による流出・流入人口をみると、常住地・従業地の別に関わらず、就業者・通学者数は減少が続いている。平成27年の常住地による就業・通学者数は2,977人、従業地による就業・通学者数は2,068人となっており、平成7年と比較すると前者で547人、後方で631人減少している。

平成27年における流出・流入率は、順に53.3%、32.6%と流出が流入を上回っている。

また、平成7年と平成27年の流出先・流入先を市町村別に比較すると、順位に変動はあるものの移動する市町村に変化は見られず、流出先は駒ヶ根市が、流入先は松川町が最も多い。

表5 流出・流入別人口推移

	常住地による 就業・通学者数 (人)	流 出		従業・就学地による 就業・通学者数 (人)	流 入		従/常 就業・通学者 比率(%)
		就業・通学者数 (人)	流出率 (%)		就業・通学者数 (人)	流入率 (%)	
平成7年	3,524	1,394	39.6	2,699	569	21.1	76.6
平成12年	3,443	1,625	47.2	2,387	569	23.8	69.3
平成17年	3,269	1,650	50.5	2,221	602	27.1	67.9
平成22年	3,120	1,661	53.2	2,161	698	32.3	69.3
平成27年	2,977	1,587	53.3	2,068	674	32.6	69.5

表6 市町村別流出・流入先人口推移

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成7年	駒ヶ根市	364	10.3	飯島町	264	7.5	飯田市	262	7.4
平成12年	駒ヶ根市	372	10.8	飯島町	317	9.2	飯田市	304	8.8
平成17年	駒ヶ根市	373	11.4	飯田市	310	9.5	飯島町	305	9.3
平成22年	駒ヶ根市	415	13.3	飯田市	319	10.2	飯島町	278	8.9
平成27年	駒ヶ根市	348	11.7	飯田市	310	10.4	松川町	272	9.1
	流 出 先								
	流出率第4位			流出率第5位					
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)			
平成7年	松川町	234	6.6	伊那市	94	2.7			
平成12年	松川町	295	8.6	伊那市	112	3.3			
平成17年	松川町	237	7.2	伊那市	149	4.6			
平成22年	松川町	249	8.0	伊那市	134	4.3			
平成27年	飯島町	259	8.7	伊那市	121	4.1			
	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成7年	松川町	198	7.3	飯島町	133	4.9	飯田市	65	2.4
平成12年	松川町	172	7.2	飯島町	150	6.3	駒ヶ根市	88	3.7
平成17年	松川町	195	8.8	飯島町	149	6.7	駒ヶ根市	99	4.5
平成22年	飯島町	189	8.7	松川町	186	8.6	駒ヶ根市	114	5.3
平成27年	松川町	191	9.2	飯島町	182	8.8	駒ヶ根市	117	5.7
	流 入 先								
	流入率第4位			流入率第5位					
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)			
平成7年	駒ヶ根市	62	2.3	高森町	49	1.8			
平成12年	飯田市	54	2.3	高森町	39	1.6			
平成17年	飯田市	47	2.1	高森町	30	1.4			
平成22年	飯田市	56	2.6	高森町	40	1.9			
平成27年	飯田市	64	3.1	高森町	38	1.8			

資料：国勢調査

- 注1) 常住地による就業・通学者数とは当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業・通学者数をいう
 従業・通学地による就業・通学者数とは当該都市に従業・通学する(昼間人口ベース)就業・通学者数をいう
- 注2) 流出率=流出就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100
 流入率=流入就業・通学者数/従業・通学地による就業・通学者数×100
- 注3) (従/常)就業・通学者比率=従業・通学地による就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100

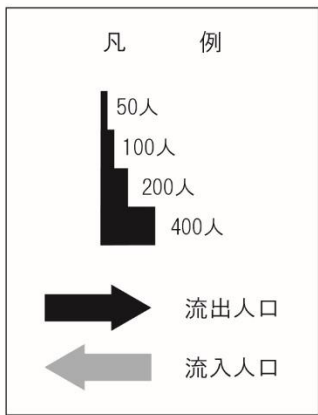
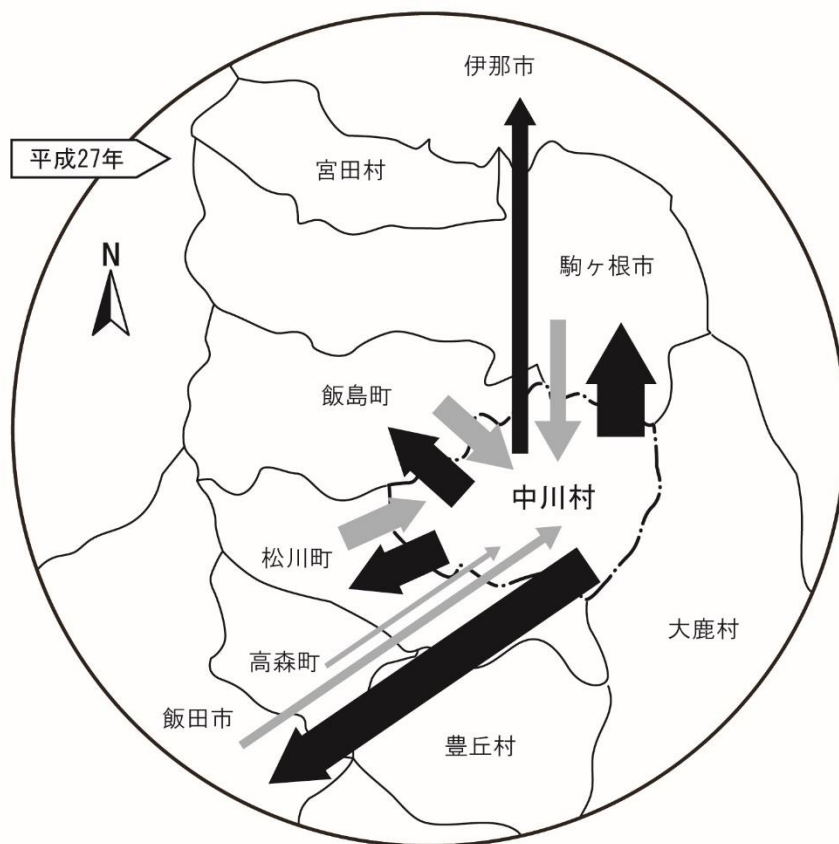
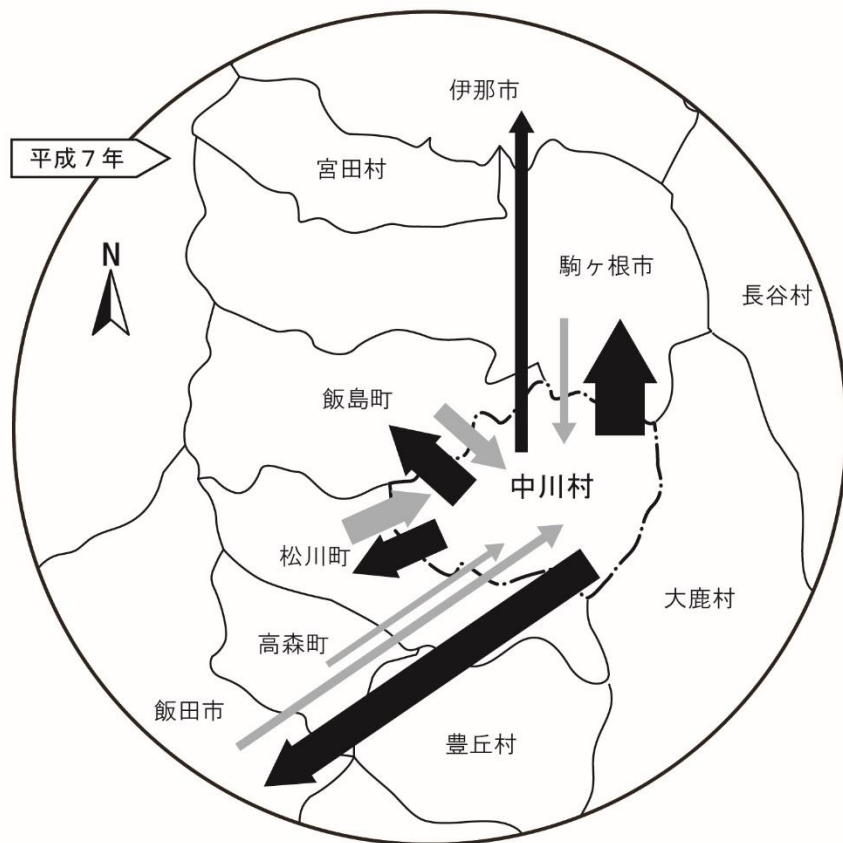


図 8 流出・流入人口